

私の提案(4)

羽田 ショック ?

有馬 ^{アキ}朗 ^ト人 (物理)

小堀さんから久しぶりにお電話をいただいたらば、「何か提案を書け」との御依頼でした。どうもその裏は「やつはしょちゅう文句ばかり言っているのだから何か書けるに違いない。時間もないことだしあいつにたのめ」てなわけじゃないかとかんぐる次第です。でも小堀編集長の御依頼はことわりなく、まんまと引き受けさせられたわけです。ところで何を提案しようかなと考えたらどうもあんまり素晴らしいものはなく、多くの方々が実現の可能性の有無にかかわらず素晴らしい提案を既に方々

で述べてられますので、私が出る幕ではなく、大いにあわてました。となると、一層のこうんとどろくさいことを一そのかわり実現性は多いものを1つ2つ書いてみることにします。

この頃はあまり言わなくなりましたが、「羽田ショック」という言葉がありました。この言葉が持っているいろいろな意味のなかで、私にとって一番のものは街の溝や便所の臭さでありました。ところが大学へ来てみると、この便所がまた、ぼろで臭さくて、つまっているな

るてことがしばしばです。せめて大学の便所ぐらゐは、臭くないきれいなものにならないものでしょうか。古来日本では便所は不浄な場所であるわけですから、くさく汚れていることはあたりまえで、皆がまんしているのでしょうか。理解に苦しみます。

ところで物理研究室以外ではそういうことはない？と思いますが、すくなくとも物理(5号館)の廊下の壁のきたなさは天下一品です。そして部屋のガラスも指で字がかけられるくらいほこりがついてる所が多いと思います。物理屋はいろいろ式を書くことが多いので、わざわざそうするむきもあるかも知れません。この夏2ヶ月ばかりオックスフォードの核物理教室 (Department of Nuclear Physics) で暮らしたのですが、夏休み中にちゃんとガラスふきが来て地階から七階まで実にきれいにふいて行きました。なんとかこれくらいのことは東大ともあろう所ができないものでしょうか。廊下だってちょっと一というとなんな金はないという声はすぐ聞えて来そうですが、一手を入れればきれいになると思います。あんまり廊下がきたなければビラを張ってかくしてやろうという気にもなるでしょうし、つばもはきたくなるでしょう。と言えれば各教室や、各研究室だって、夕方になると掃除係が来てきれいにするということが常識みたいと思うのですが、我々の身边ではそういうことがありません。他の教室ではいかがでしょうか。

環境がきたないなんてことにやきもきするのは、お前さんの研究心や学問に対する情熱がたりないからだなんて言われそうですが、私はそう思いません。ともかくも

うすこし大学をきれいにしたいと思ひます。一ただし机の上の書もつのことは除いて下さい。

もう一つ大変話が飛びますが書きたいことは旅費のことです。国外出張はいわづもがな一私も外国へのお出張をかなりしましたが、大日本国から出張費をいただく光栄に浴したことはただの一度もなく残念に思っています。何時もブラジル、ギリシヤなど経済的にめぐまれない国を含めて相手持ちで出掛けています。どうも太鼓持ちのようで肩身のせまい気がしています。国内の学会出張ですら年にただの一回、しかも赤字が出るようなのは大変困ります。他のお役人の方々のように出張すると黒字がポケットに残るとまでは行かなくとも良いですが、もうすこし増せないものでしょうか。我々自身の出張費もさることながら、もっと、外人を呼んだり、国内でも同じ仕事をしている人を気軽に呼んで討論や研究が自由に出来るようにならないものでしょうか。セミナーに呼ぶ旅費のわくすらないなんてというのは全くあきれます。こんなにきゅうくつな国は世界でも珍らしいのでわないでしょうか。

1 講座か 2 講座に 1 人ぐらゐは流動的に外人がどんどん来ていてしかるべきです。学振を頼めば良いと言っても、うんと前から準備してしかもきまるのが遅く、そして人数があまりにも少くないのではなくとも不便でしょうがありません。

今や経済大国？なんですから、もうすこしきれいな場所に、もっと外国人や、この大学外の人を自由に呼べるようにしたいと思ひますが、いかがでしょうか。